

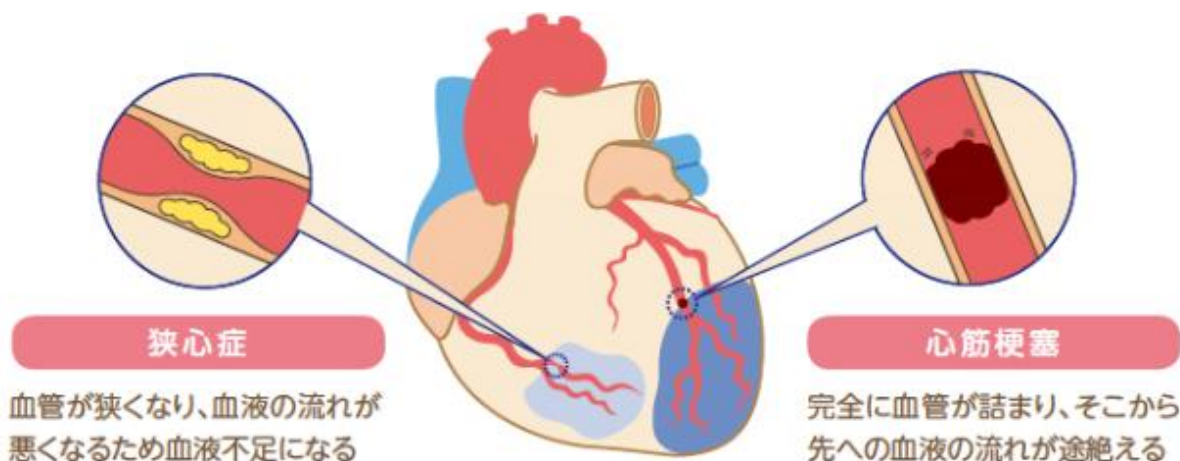
2 心血管疾患(心疾患)

心血管疾患とは

心血管疾患には、脈の乱れを起こす病気（不整脈）や先天性の心臓病、心筋や心膜の病気などさまざまなものがあります。その中で生活習慣病が関わっているものが虚血性心疾患です。

虚血性心疾患は、冠状動脈が動脈硬化のために細くなってしまい、心臓を動かしている心筋に酸素や栄養が十分に行き渡らなくなることが原因です。そのため、心筋が一時的に血液不足になって胸に痛みを引き起こしたり（狭心症）、完全に血管が詰まってしまい、胸に激しい痛みを生じたりといった症状があります（心筋梗塞）。

なお、高齢者や糖尿病患者などでは、狭心症や心筋梗塞を発症しても痛みを感じない場合もあり、原因不明の不整脈や倦怠感などを訴える人もいます。



狭心症

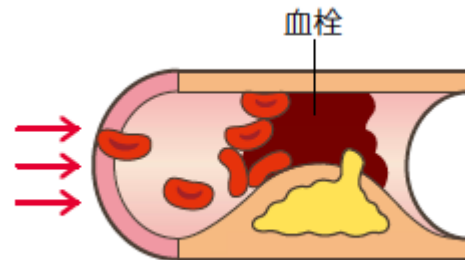
普段は無症状なのに、冠状動脈が細いため、運動やストレスがかかったときなど心筋の酸素消費量が高まったときに必要な血流が得られず、虚血性の痛みが出現するのを狭心症といいます。また動脈硬化ではなく、冠状動脈のけいれんによって起こるタイプもあります。しかし安静にしていると自然に痛みは消失し、普通は15分以上続くことはありません。



心筋梗塞

突然、冠状動脈が閉塞して激しい痛みが30分以上続くと心筋梗塞が疑われます。これはすぐに緊急搬送しないと即、命に関わる病気であり、突然死の最大の原因と考えられています。

なお、心筋梗塞の発症以前に狭心症の既往歴を有している場合もありますが、いきなり心筋梗塞を発症することもあります。

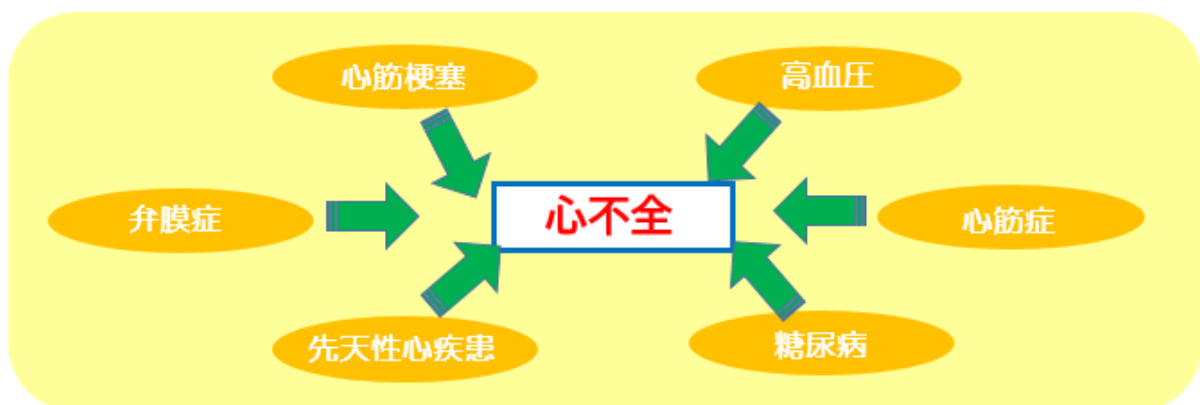


出典：厚生労働省「スマート・ライフ・プロジェクト」

心不全

心臓は全身に血液を循環させるポンプです。心不全では、心臓が悪いために全身の循環がうまく行かなくなり、その結果として息切れやむくみなどが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。発症のリスクが高くなる生活習慣（病）として、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、喫煙などがあります。

心不全は、あらゆる心血管疾患の最終像です。一度心不全になると、徐々に進行すると言われており、生命に関わります。服薬などの治療によって症状や寿命を改善できますが、継続的な治療が大変重要です。症状が改善したからといって、治ったわけではないことに注意が必要です。



「心不全」監修：山口修

愛媛大学大学院医学系研究科循環器・呼吸器・腎高血圧内科学 教授

IV 基本方針

1 全体目標

国の基本計画に基づき、愛媛県の実情を踏まえた計画及び施策を展開することにより、令和22（2040）年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少を目指します。

健康寿命

基準値

愛媛県男性	71.50歳
愛媛県女性	74.58歳



目標：令和22（2040）年

愛媛県男性	74.50歳以上
愛媛県女性	77.58歳以上

出典：健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究（令和元（2019）年）

年齢調整死亡率

基準値

脳血管疾患（男）	100.2
脳血管疾患（女）	58.3



目標：令和22（2040）年

脳血管疾患（男）	76.2
脳血管疾患（女）	45.5

心血管疾患（男）	234.4
心血管疾患（女）	129.1



心血管疾患（男）	190.1
心血管疾患（女）	109.2

出典：人口動態統計特殊報告（令和2（2020）年）

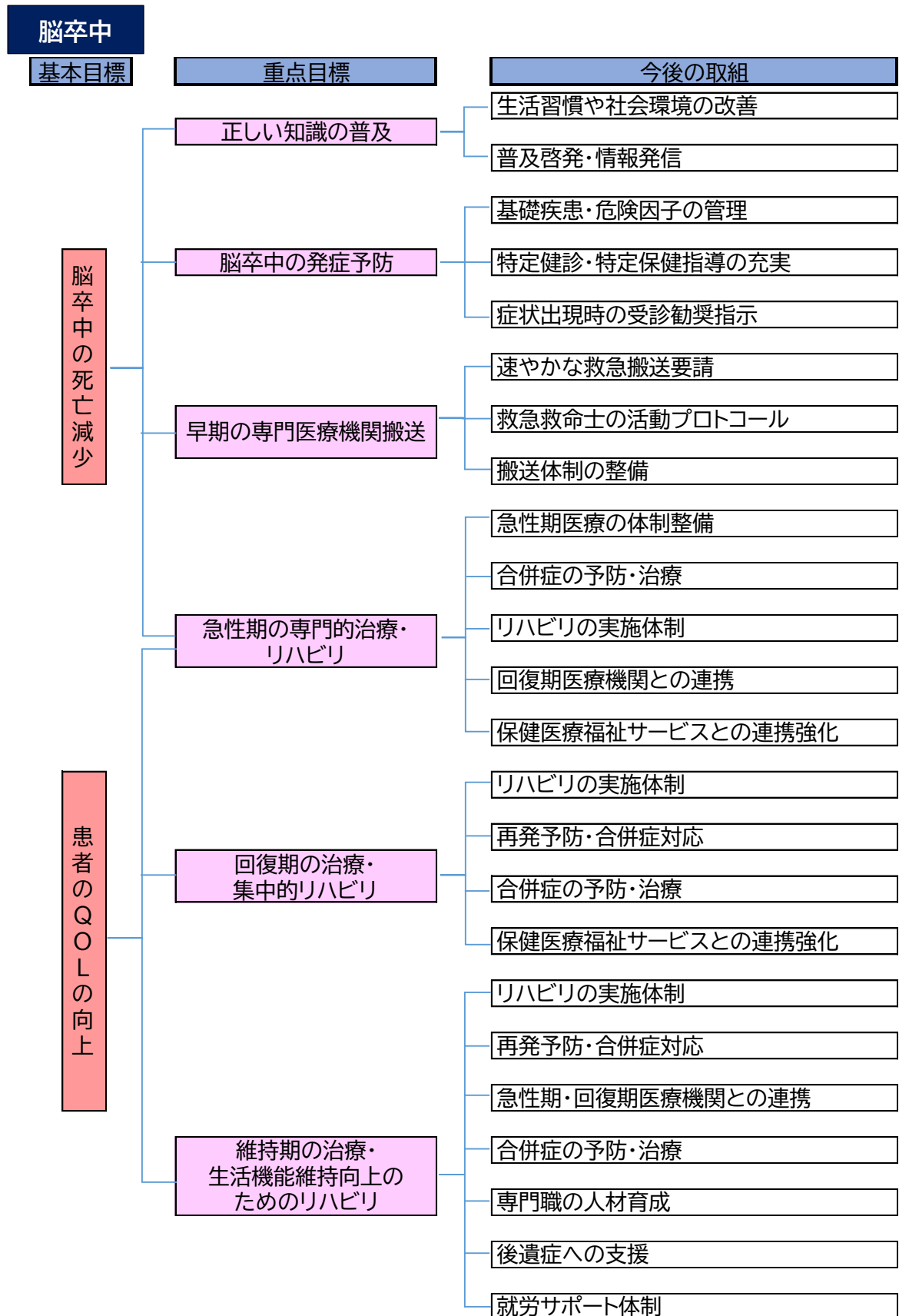
※年齢調整死亡率の目標設定について

- 脳血管疾患については、基準となる令和2（2020）年人口動態統計特殊報告において、全国で最も低い値（男性：滋賀県、女性：大阪府）を目標に設定。
- 心血管疾患については、基準となる令和2（2020）年人口動態統計特殊報告において、全国平均値を目標に設定。



2 計画体系図

県推進計画における目標及び取組の体系図は、循環器病を脳卒中及び心血管疾患に分けて整理しています。



心血管疾患

基本目標

重点目標

今後の取組

心血管疾患の死亡減少

患者のQOLの向上

正しい知識の普及

生活習慣や社会環境の改善

普及啓発・情報発信

心血管疾患の発症予防

基礎疾患・危険因子の管理

特定健診・特定保健指導の充実

症状出現時の受診勧奨指示

早期の専門医療機関搬送

速やかな救急搬送要請

救急蘇生法等の適切な実施

救急救命士の活動プロトコール

搬送体制の整備

急性期の専門的治療・
リハビリ・緩和ケア

急性期医療の体制整備

24時間専門的治療の体制整備

リハビリの実施体制

緩和ケアの体制

回復期医療機関との連携

回復期の治療・リハビリ・
緩和ケア

リハビリの実施体制

再発予防・合併症対応

緩和ケアの体制

保健医療福祉サービスとの連携強化

慢性期・再発予防の治療・
リハビリ・緩和ケア

慢性期医療の体制整備

再発予防・合併症対応

急性期・回復期医療機関との連携

在宅療養支援体制

専門職の人材育成

就労サポート体制

先天性心疾患への支援体制